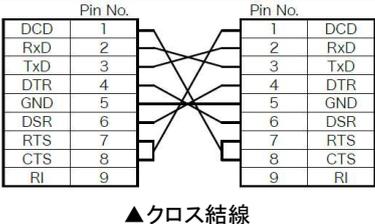


【RS-232C】計測器との通信がうまくできない時のチェックシート

計測器がリモート状態にならない時

No.	確認内容	確認結果
1	正しい接続ケーブルを使用していますか？ クロス結線 を使用してください。 ※RS-232Cのケーブルには下記の3種類があります。 ①ストレート結線 ②インタリンク用結線(ハードフロー制御機能使用時) ③クロス結線(HIOKI9637同等品をご使用ください)	
2	9pin-25pin変換機を使用している場合 内部でストレート、クロス結線の場合があるので、使用するケーブルと組み合わせた状態で クロス結線 となっているか確認してください。	
3	USB-RS232C変換器を使用している場合 変換器のドライバが正しくインストールされているか確認してください。 Windowsではデバイスマネージャーで確認可能です。	
4	COMポート番号を確認してください。 Windowsではデバイスマネージャーで確認可能です。	

通信設定の確認

No.	確認内容	確認結果
5	通信スピード(ボーレート)は合ってますか？ パソコンと計測器の設定を同じにしてください。	
6	通信相手側のフロー制御はOFFになっていますか。電力計はフロー制御に対応していません。	
7	データビットは「8」、パリティは「なし」、ストップビットは「1」になっていますか？	
8	ターミネータはパソコンと計測器で同じ設定になっていますか？(「CR」または「CR+LF」)	
9	PLCを使用している場合は、初期設定が上記と異なる場合があるので確認してください。	

通信確認

No.	確認内容	確認結果
10	各製品のサンプルアプリ(フリーソフト)で計測器と通信できるか確認してください。 ※弊社ホームページ「サポート」→「ソフトウェアダウンロード」よりダウンロードできます	
11	「Teraterm」等のターミナルソフトで計測器と通信できるか確認してください。	
12	通信ソフトを自作される場合は、「通信コマンド送受信サンプルプログラム」を参考にしてください。 ※弊社ホームページ「サポート」→「ソフトウェアダウンロード」よりダウンロードできます	

こんな時は？

No.	確認内容	確認結果
13	計測器のRemoteランプが点灯するのに、クエリの応答がない、コマンドで指定した動作をしない場合は、コマンドエラー、実行エラーが発生していますので、以下を実行してください。 ・コマンドの綴り ・コマンドを1つずつ送り、どこでエラーが発生しているか確認 ・通信スピードやデータビット	

それでも解決できない

No.	確認内容	確認結果
14	パソコン、計測器本体を再起動してみてください。 ドライバ等をインストールした後など改善される場合があります。	